

WITH YOU

保険情報ペーパー「ウィズ・ユー」

夏山シーズン 「山ガール」など若者にも登山ブーム広がる

夏の山岳遭難 全国で約500件発生

9月以降の台風に注意
接近時は早めの避難を

夏期(7～8月)の山岳遭難発生状況
警察庁資料

健康志向の高まりにより、大自然を肌で感じる
ことができる登山や山歩きがブームになっていま
す。最近、「山ガール」と呼ばれる、ファッ
ションブルでカラフルなアウトドアウェアに身を
包み登山を楽しむ若い女性たちも増え、中高年
に加えて、若者にも人気広がっています。とくに
夏山シーズンは、気象条件にも恵まれ、登りやす
いという認識から、多くの登山者でにぎわいま
す。だれもが気軽に山登りを楽しむようになって
きている一方で、毎年のように夏山で多くの遭難
事故が発生しています。

警察庁の資料によると、平成23年夏期(7～8
月)の山岳遭難発生件数は全国で486件もありま
した。遭難者数は570人、約半数は無事に救出さ
れています。亡くなった人が51人、行方不明者
が10人、また負傷者は252人(重傷100人、軽傷
152人)にもものぼります。なかでも40歳以上の中
高年の割合が依然と高く、全遭難者の76.8%
(438人)を占め、死者・行方不明者は55人と
なっています。

山岳遭難で多いのが「転倒」「道迷い」「疲労・
病気」「転落・滑落」で、これらが全体の87.9%
を占めています。こうした遭難は、ちょっとした
不注意や安易な行動がもとで起きているケースが
多いといわれます。遭難を未然に防ぐためにも、

		平成23年	平成22年
発生件数		486件	530件
遭難者数	死者・行方不明者	61人	77人
	負傷者	252人	283人
	無事救出等	257人	251人
	合計	570人	611人

警察庁では「登山計画の作成、提出」「危険箇所の把握」「視界不良や体調不良による早めの登山中止など状況の的確な判断」「転落・滑落防止のための滑りにくい登山靴やストックなどの装備」「道迷い防止のための地図とコンパスの活用」などを呼びかけています。また、事前準備の不足や計画性のない登山、軽装での登山、体力・技術不足が大きな事故につながっています。

夏山とはいえ、自然相手の登山に危険があることには変わりありません。それを認識したうえで、「自分の行動は自分で管理する」ことを基本に、山登りの際は遭難防止に努めるようにしてください。

2012年7月作成



フォーユーシステム株式会社

〒989-6135 宮城県大崎市古川稲葉字浦田32-1
古川の通報は大場いい 通話いや
TEL 0229-24-0855 FAX 0229-24-0855
<http://www.foryousystem.co.jp>